



100年毎のウイルス感染症の中で



高田町内会会長
宮田 寿雄

人類とウイルスは永遠の戦いだそうです。ウイルスによる感染症は約100年毎に大流行が起きています。1820年前後のコレラ、1920年のスペイン風邪。これらの病気は現在も撲滅した訳では無く、ワクチン接種、医学の進歩により当時のような爆発的な流行にはならないようです。2020年の今年は新型コロナ感染症です。一日も早く新型コロナワクチンの完成を望みます。

コロナ禍の中、会員の皆様はどのような生活をされていますか?「こんな時に町内会かよ!」と言わず、こんな時こそ町内会です。現在町内会活動は縮小、自粛では有りますが活動をしています。今回会員の皆様に是非お伝えしたい事は災害時の避難に関する事です。高田地区の避難所は高田中学校と高田東小学校の2カ所です。避難所の新型コロナ対策は行政と拠点委員会の連携で行いました。地域防災拠点の避難所は緑色の看板が目印です。平常時に「避難所」をご確認下さい。

新型コロナに係る研修所の利用方法について

新型コロナ流行に伴い、町内会では研修所の貸し出しを3月から6月末までの4ヶ月間は中止しました。しかし収束の目途は一向に立たず、あらゆる活動を自粛するのは好ましくなく、研修所の貸し出しを7月から再開しました。10項目を超える感染防止項目を定め、ご利用時は周知徹底して頂くようにしました。また、ご利用者全員の追跡が出来るように連絡先名簿を提出して頂くようにしました。

- 利用人数は15名までとすること
- 発熱や体調がすぐれない方は、参加を取りやめること
- 主催責任者の方は、参加者の連絡先を把握すること
- 参加者は手を洗浄すること(消毒液は入口に常備、手洗いはトイレを利用)
- 「密閉・密集・密接」を避けること
- 常時換気 窓を開け換気扇(ホワイトボード下にスイッチ有)を回すこと
- 近くで対面して会話することは控えること
- 参加者はマスク着用すること
- 消毒作業を除いて、台所の器具は一切使用禁止すること
- 使用後に床・機材の消毒を行うこと
- 上履きは各自でご準備すること
- 主催の責任者は上記の各事項を守り、感染の危険を排除することを参加者全員へ周知徹底すること



さらに9月からは非接触型の体温計を貸し出し、検温して頂くようにしました。

毎月の理事会開催時も密集とにならないようメンバーを分け、2回開催しています。

新任民生委員 桑名孝治様

(1名欠員となっていました、高田町内会推薦の12名全員が揃いました。)

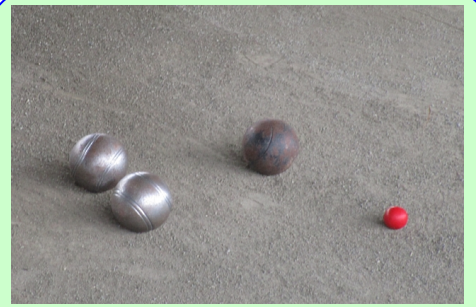
令和2年度高田町内会 監査の紹介

1区30-1班	時枝 かずえ様
2区丸山住宅8B班	飯田 司様
3区7-2班	藤田 起身夫様

特別会員様のご紹介



ペタンク大会



10月4日東山田スポーツセンターで近隣町内会親善のペタンク大会が行われました。今回は残念ながら8チーム中の上位にはなれませんでした。平成26年には大きな大会で上位を独占する好成績だったこともあります。

ペタンクは鉄球を6～10m内に投げられた目標物(ビュット)に投げるスポーツです。得点はカーリングに似ています。

興味ある方は町内会理事に声をおかけ下さい。

定期的な練習は行っていませんが、大会の直前に第四公園で行っています。

高田って どんどころ？ -25-

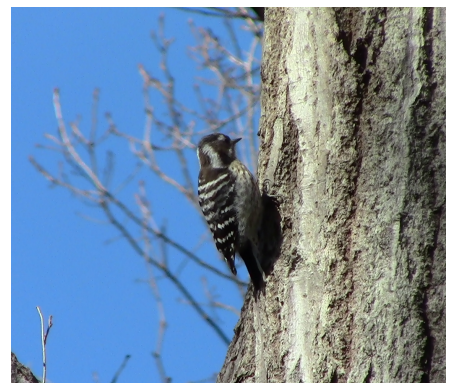
高田西公園



林の中の紅葉

高田で最も面積の広い公園が、高田西公園です。場所は、マイバスケット高田西店の裏手の坂道を登った所です。森があり、上と下の段に広場があります。上の段には砂場や滑り台などの遊具の他に大きな桜の木やサルスベリ、美味しい実のなる柿の木、下の段には梅とネズミモチの木などがあります。上下の広場横には過去にお伝えしたことのある高田町内会創立70周年記念や、小学生による植樹の紫陽花があります。植樹後は、高田アジサイ愛好会や公園愛護会の努力により梅雨の頃に沢山咲くようになってきました。森では春にイソヒヨドリが賑やかに鳴き、秋には森の中にムラサキシキブが紫色の実をつけ、12月になるとモミジの紅葉が美しくなります。葉も落ちた冬になるとキツツキの仲間のコゲラが木を突き、目を凝らすとその姿を見ることが出来ます。

毎月第3日曜日は各種団体やボランティアの方々が清掃が行われています。



キツツキの仲間コゲラ

編集後記 キツツキの写真は2019年の1月に高田西公園で撮影したものです。今年の春はイソヒヨドリのオスの写真を写そうと頑張ったのですが、写せたのは地味なメス。オスは賑やかな声で鳴いているのですが高い木の上部の方で鳴いているようです。早淵川の土手にも来ています。いつか写してみたいです。(A.S)